

特別な年、  
聖地・国立で特別な戦い。

届け！  
フットボールの  
チカラ



2020 J.LEAGUE  
YBC  
Levain  
CUP  
FINAL

*Final*

# 2020 J.LEAGUE YBC Levain CUP

2021.1.4 MON 14:35

国立競技場



柏レイソル

フジテレビ系列で全国生中継



FC東京

THE OFFICIAL MATCHDAY PROGRAMME



# GREETINGS

ご挨拶



公益財団法人  
日本サッカー協会 会長

**田嶋 幸三**

Kohzo TASHIMA



公益社団法人  
日本プロサッカーリーグ チェアマン

**村井 満**

Mitsuru MURAI



ヤマザキビスケット株式会社  
代表取締役社長

**飯島 茂彰**

Shigeaki IIJIMA

2020JリーグYBCルヴァンカップ決勝ようこそお越しくださいました。決勝の延期は苦渋の決断でしたが、こうして多くの観客の皆さまをお迎えし、決勝戦を開催できることを心からうれしく思います。延期に際してご理解いただきましたファン・サポーターの皆さまには心から感謝申し上げます。

予期せず新年の開催となったYBCルヴァンカップ決勝ですが、元日に行われた天皇杯JFA全日本サッカー選手権大会決勝の興奮冷めやらぬなかとあって、柏レイソルとFC東京ともに最高峰の戦いをお見せしようとする準備をしていたと思います。

YBCルヴァンカップの決勝では7大会ぶりの国立競技場です。改修前の最後の国立競技場で優勝杯を掲げた柏は、新装された競技場で再び凱歌を掲げるべくこの決勝を迎えたことでしょう。

一方のFC東京も11年ぶりのタイトル奪還を目指し、周到な準備をしてこの決勝を迎えたはず。AFCチャンピオンズリーグ2020ではラウンド16で敗退となったものの4年ぶりとなるアジアでの激闘を経て、アグレッシブなサッカーを見せてくれると思います。

新型コロナウイルス感染防止のために満員のスタジアムとはなりませんが、待ちに待った決勝だけに、スタジアムは熱気にあふれ、YBCルヴァンカップらしい躍動感ある決勝戦になるのではないかと楽しみにしています。

SAMURAI BLUE(日本代表)も多くの関係者のご尽力により、昨年、ヨーロッパを舞台に国際親善試合を戦うことができました。今年3月から再開されるアジア予選を勝ち抜き、FIFAワールドカップカタール2022の出場権獲得、そして、東京オリンピックで最高の成績を収めるために、しっかり準備を進めていきたいと考えています。そのために、このJリーグYBCルヴァンカップで世界レベルの決勝戦が繰り広げられ、多くの選手が日本代表に名乗りを上げてほしいと期待しています。

握手やハイタッチ、倒れた選手に手を差し伸べるなど、リスペクトの気持ちを表現していく状況ですが、こういう時期だからこそ人々を思いやる気持ちが大切です。プロとして高い志と誇りを胸に、スポーツマンシップあふれるプレーでサッカーの魅力、素晴らしさを人々に伝えてください。

激しくリスペクトに満ちたゲームが展開し、JリーグYBCルヴァンカップの歴史にまた新たな1ページが刻まれることを祈っています。

最後になりましたが、長きにわたりご支援いただいていますヤマザキビスケット株式会社をはじめ、中継局のフジテレビ、大会運営にご尽力いただいた東京都サッカー協会ほか、ボランティアの皆さま、関係者の皆さまに心から御礼申し上げます。

サッカーの聖地・国立競技場で迎える2020JリーグYBCルヴァンカップの決勝は、柏レイソルとFC東京の初顔合わせとなりました。当初の予定より2カ月近く延期しての開催となりましたが、長きにわたり日本サッカー発展の一翼を担ってきた本大会を第1回大会より特別協賛いただいているヤマザキビスケット株式会社はじめ、すべての関係者の皆さま、そしてファン・サポーターの皆さまのご理解とご協力に心より御礼申し上げます。

ここまで5戦全勝と幕進中の柏レイソル。準決勝では怒涛の攻撃を跳ね返し、1点を守り切って7年ぶりに決勝の切符を掴み取りました。一方のFC東京は、リーグ戦でも好調の波に乗る勢いのまま、11年ぶりの舞台に勝ち上がっています。両者とも、決勝で相手に王座を譲った過去がありません。お互いの誇りをかけた熱戦が期待されます。

例年、激戦を勝ち抜いてきた両チームが繰り広げる名勝負に心を躍らせていますが、今回は特別な緊張感を覚えています。新型コロナウイルス感染症の影響により、2月にはグループステージ開幕日以降の中断を決め、再開後は大会方式の変更も行いました。リーグ戦も含めた延期の判断を重ねるなか、選手たちが心身のコンディションをコントロールし、ここまでプロサッカー選手として全力で戦う姿を見せてくれたことに、改めて敬意を表します。

本日の決勝も、Jリーグのガイドラインに則り、使用可能座席の半数である約26,000席のご用意となりました。歓声が溢れる満員のスタジアムへの道のりは依然長いですが、今、世界を見渡しても、これだけのお客さまを迎えるサッカースタジアムは多くありません。ファン・サポーターの皆さまにもガイドラインへの多大なご理解とご協力をいただきまして、これまで少しずつ歩みを進め、ようやくこの日を迎えることができました。安心・安全を最優先とする試合運営は、世界からも注目を集めています。ぜひ、引き続きのご協力をお願い申し上げます。

サッカーができることの喜び、応援することの喜び、大会を運営できることの喜び、きっとこれまで以上に、スポーツが私たちに与えてくれるもののお大きさを実感できる大会になるのではないのでしょうか。多くのお客さまの前で戦うことが、選手たちにとって大きな後押しとなり、最大限の力を引き出すことと思います。どんなときも全力で立ち上がる選手たちの姿が皆さまの活力となり、2020シーズンのJリーグを締めくくる一戦として、これからも多くの方の心に残り続けることを願っています。

2020年2月16日に開幕し長きに亘り繰り広げられた本大会も、本日より第28回大会決勝戦を迎える運びとなりました。

昨年は新型コロナウイルスの影響に伴い、東京2020オリンピックを含め、多くの催事が中止、延期を余儀なくされました。2020JリーグYBCルヴァンカップも例外ではなく、第2節より延期となり、8月5日より再開に至りました。その渦中において、普段と異なる大会運営、感染症対策の徹底などに尽力された関係者の皆様により御礼申し上げます。例年であれば決勝戦以外はホーム・アウェイ方式にて勝敗を争ってきましたが、シーズン途中から大会方式を変更せざるを得ない異例の対応となりました。

また、ファン・サポーターの皆様におかれましても、新型コロナウイルス感染症対応ガイドラインに則った応援スタイルを遵守し、精一杯、選手、クラブを支え続けて来られました。このような異例尽くしの渦中においても、数々の素晴らしいプレーで魅了してきた選手、支えてきたクラブ関係者、声援を送り続けてきたサポーターの皆様のご一致団結した強い信念があるものと大変感銘を受けております。皆様に対して心より敬意を表するとともに、本日ここに決勝戦を迎えられましたことは大変有難いことと感謝しております。当社と致しましては、今後益々日本サッカー界の発展を祈念するとともに、その一助となるべく引き続き邁進して参ります。

そして、本日の決勝戦はブライムステージを勝ち抜いた、柏レイソルとFC東京の対戦となりました。両クラブともに過去2回の優勝を誇り、柏レイソルは2020年J1に昇格した勢いそのままに2013年以降の決勝進出となりました。また、FC東京はシーズン中の好調を維持し続け、2009年以降の決勝進出を果たしました。本日の激闘の舞台は、新たに生まれ変わった国立競技場です。頂点を目指し戦ってきた選手、スタッフ、ファン・サポーターの熱い思いを受けて、歴史に残る闘志溢れる素晴らしい戦いになるものと期待しております。2013年大会以来7大会ぶりの決勝開催となる聖地でのフェアプレー精神に則った熱い戦いは、多くの人の心に刻まれることでしょう。

ここに本大会が第28回大会に至る今日まで運営を支えて頂いた公益財団法人日本サッカー協会ならびに公益社団法人日本プロサッカーリーグをはじめとする関係各位、また終始暖かいご声援をいただいたファン・サポーターの皆様へ深く感謝申し上げます。今後のJリーグおよび日本サッカー界の益々の発展をお祈り申し上げます。



# SUMMARY

大会名称： 2020 JリーグYBCルヴァンカップ  
主 催： 公益財団法人 日本サッカー協会、公益社団法人 日本プロサッカーリーグ  
特別協賛： ヤマザキビスケット株式会社

## ●大会概要

大会 JリーグYBCルヴァンカップ(J1 18チーム、J2 松本※)

### 大会方式

#### ■ グループステージ

ACLに出場する3チーム(横浜FM、神戸、FC東京)を除くJ1の15チームとJ2松本※の16チームを4グループに分け、各グループで1回戦総当たりリーグ戦を行う。  
各グループの1位チームの4チームと2位チーム内上位1チームの5チームがブライムステージに進出する。

※Bグループの松本は

グループステージ第2節以降の試合を実施しない。

※Bグループは3チーム(仙台、浦和、C大阪)で1回戦総当たりのリーグ戦を行う。

Aグループ(4チーム)： 鹿島/川崎F/清水/名古屋

Bグループ(4チーム)： 仙台/浦和/松本/C大阪

Cグループ(4チーム)： 札幌/横浜FC/広島/鳥栖

Dグループ(4チーム)： 柏/湘南/G大阪/大分

※グループステージ各グループの組み合わせは、

2019明治安田生命J1リーグ順位をもとに決定。

#### ■ ブライムステージ

グループステージを勝ち上がった5チーム、およびACLに出場する3チーム(横浜FM、神戸、FC東京)を加えた計8チームにより、1試合制のトーナメント戦を行う。

### 開催日程

#### ■ グループステージ

第1節 2月16日(日)/第2節 8月5日(日)/第3節 8月12日(日)

#### ■ ブライムステージ

準々決勝：9月2日(日)

準決勝：10月7日(日)

決勝：1月4日(日)

## ●開催概要

### グループステージ

90分間(前後半各45分)の試合を行い、勝敗が決しない場合は引き分けとする。  
＜勝点＞勝利：3点、引き分け：1点、敗戦：0点  
＜順位＞の決定＞グループステージが終了した時点で、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。  
ただし、勝点と同じ場合は以下の順によって順位を決定する。  
①勝点が高いチーム同士で行った試合の勝点差  
②勝点が高いチーム同士で行った試合の得失点差  
③勝点が高いチーム同士で行った試合の得点  
④①～③を適用してもなお、順位が決定しない場合、①～③を当該チームの直接対決に限り再度適用して、最終順位が決まる。この手順で決定に至らない場合、④～⑥が適用される。  
④グループ内の全試合の得失点差  
⑤グループ内の全試合の得点  
⑥順位決定にかかわるチームが2チームのみで、その両チームがフィールド上にいる場合はPK方式  
⑦反則ポイントの少ない順 ⑧抽選

2位チームから上位1チームを決定する方法は勝点の合計が多いチームを上位とし、順位を決定する。ただし、勝点が高い場合は、以下の順によって順位を決定する。  
①得失点差 ②総得点 ③反則ポイント ④抽選

※Bグループにおいて、松本との試合が未実施となる仙台、浦和については第3節終了後、勝点3を加えてブライムステージ進出チームを決定する。

### ブライムステージ(準々決勝・準決勝)

90分間(前後半各45分)の試合を行い、勝敗が決しない場合はPK方式によって決定する。

### 決勝

90分間(前後半各45分)の試合を行い、勝敗が決しない場合は30分間(前後半各15分)の延長戦を行う。それでも勝敗が決しない場合はPK方式によって決定する。(各チーム5人ずつ。勝敗が決定しない場合は、6人目以降は1人ずつで勝敗が決定するまで)

## ●表彰

### 優勝

賞金7千5百万円、Jリーグカップ(チェアマン杯)、JリーグYBCルヴァンカップ(パートナー杯)、メダル

### 2位

賞金2千5百万円、楯、メダル

### 3位

1クラブにつき賞金1千万円、楯

### MVP

2020JリーグYBCルヴァンカップ優勝チームの中から、最も優勝に貢献した選手には、MVP賞として賞金100万円とクリスタルオーナメント(ティアファニー社製)、ヤマザキビスケット社製品1年分が贈られる。



### NEW HERO

「ニューヒーロー賞」は、2020年JリーグYBCルヴァンカップ(グループステージから準決勝)を通じて、最も活躍が顕著であった21歳以下(大会開幕時)の選手1名に贈られる。

#### ■ 対象選手

・当該シーズンの12月31日において満年齢21歳以下の選手  
・第2種トップ可登録選手およびJFA・Jリーグ特別指定選手も対象  
※ただし、過去に同賞を受賞している選手は対象外とする

#### ■ 選出方法

グループステージ～準決勝までの各試合会場における報道関係者の投票をもとに、Jリーグ チェアマンを含む選考委員会において、今年度のニューヒーロー賞を選出。

#### ■ 発表・表彰

・表彰：賞金50万円、クリスタルオーナメント、ヤマザキビスケット社製品1年分。

## Jリーグの最新情報はこちらをチェック!

JリーグYBCルヴァンカップの情報ははじめ、明治安田生命J1、J2、J3リーグなど、Jリーグにまつわるすべての情報がここに。全試合日程から試合の速報、選手名鑑、フォト、動画まで公式ならではのコンテンツが満載!



Jリーグ公式サイト  
<http://www.jleague.jp>

## ルヴァンカップの情報は「#ルヴァンカップ」へ



Jリーグ公式  
Facebookページ  
(@jleagueofficial)



Jリーグ公式  
Instagram  
(@jleaguejp)



Jリーグ公式  
Twitter  
(@J\_League)



Jリーグ公式  
LINE  
(LINE ID:j.league)

## 来場者アンケートにご協力ください

Jリーグでは来場された方へのアンケートを後日メールにてご案内予定です。  
安心・安全なスタジアムを目指し、参考とさせていただきますので皆様のご協力よろしくお願いいたします。

©J.LEAGUE、©KASHIWA REYSOL、©F.C.TOKYO





# ROAD TO FINAL

「新国立」最初の王者を懸けて

歓

喜を目指した戦いの幕が上がる。

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響でJリーグ中断を余儀なくされ、本大会も方式を変更しながら今日を迎えた。プレーオフを廃止とし、グループステージを1回戦総当たりのリーグ戦に変更。各グループの1位となった川崎F、C大阪、札幌、柏、そして2位チーム内の上位となった名古屋、AFCチャンピオンズリーグに出場した横浜FM、神戸、FC東京の3クラブが加わり、1試合制のトーナメント形式によるブライムステージへ。

勝ち上がったのは、7年前の改修前最後の国立競技場で王者となった柏と、AFCチャンピオンズリーグでベスト16進出、J1リーグを6位で終えたFC東京だ。

7年ぶりとなる国立競技場での決勝戦。交代枠は3人から5人となり、U-21先発ルールもない。これまでと違った環境であるとともに、違った状況での戦いとなる。戦い方にも幅が生まれ、試合展開が変わる機会が増えることで柔軟な対応も求められることになるだろう。

カップを掲げる、その瞬間のために。はたしてどんな戦いを繰り広げられるのか。

1月4日、国立競技場。試合終了のホイッスルが吹かれたとき、「新国立」最初の王者の名が新たな歴史に刻まれる。🏆



## GROUP STAGE グループステージ 戦績表

### A グループ

順位	クラブ名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	川崎フロンターレ	7	3	2	1	0	10	5	5
2	名古屋グランパス	7	3	2	1	0	6	2	4
3	鹿島アントラーズ	3	3	1	0	2	5	6	-1
4	清水エスパルス	0	3	0	0	3	3	11	-8

### B グループ

順位	クラブ名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	セレッソ大阪	9	3	3	0	0	8	1	7
2	浦和レッズ	6	2	1	0	1	5	3	2
3	ベガルタ仙台	3	2	0	0	2	2	8	-6
4	松本山雅FC	0	1	0	0	1	1	4	-3

### C グループ

順位	クラブ名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	北海道コンサドーレ札幌	7	3	2	1	0	6	2	4
2	サンフレッチェ広島	4	2	1	0	1	3	2	1
3	横浜FC	4	3	1	1	1	2	3	-1
4	サガン鳥栖	1	2	0	0	2	0	4	-4

### D グループ

順位	クラブ名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	柏レイソル	9	3	3	0	0	5	1	4
2	ガンバ大阪	4	3	1	1	1	3	3	0
3	湘南ベルマーレ	3	3	1	0	2	2	3	-1
4	大分トリニータ	1	3	0	1	2	2	5	-3



2020Jリーグ  
YBCルヴァンカップ決勝  
アンバサダー

# 内田篤人

Atsuto UCHIDA

近年、YBCルヴァンカップは  
若手選手の登竜門ともいわれるようになった。  
その若手選手が持つ魅力、  
出場経験の大切さについて、  
YBCルヴァンカップ決勝アンバサダーに  
就任した内田篤人氏に聞いた。

これからの選手はチャンスだと思って、  
決勝の舞台を踏み台に成長していつてほしい

——2020年8月23日のラストマッチで、14年半のプロ生活を  
終えました。セカンドキャリアを歩み始めていかがですか。

ストレスがなく、楽しい生活を送れています。いろんなお仕事を  
やらせてもらうようになりましたが、勝負ではないし毎日練習  
もない。やりたいことをやらせてもらっていて、自分自身、無理せ  
ず楽しくやらせてもらっています。

——ロールモデルコーチとして、U-19日本代表を指導。今の若  
手選手の印象を教えてください。

若い選手はかわいいですよ。アントラーズのときも一緒にト  
レーニングをしたり、話をしていたので、特にコーチになったから  
変わったことはないのですが……、ただ立場としてはコーチな  
ので、教えるというよりアドバイスをするという感じでやらせても  
らっています。今の若手はうまい選手が多い。けど、うまいだけで  
は勝てないのがこのサッカーの世界。世界で活躍している同年  
代の選手もいるし、J1で出場している選手もいれば、それぞ  
れのチーム状況もありますが、「ここから先は自分の意識一つで  
環境がガラッと変わるんだよ」という話をさせてもらっています。

——日本サッカーを世界レベルに引き上げるため、若手選手  
の成長は不可欠です。実際に指導してみて、日本の若手選手の  
強みやいいところ、このまま伸ばしていけばいいという部分に  
ついてどう感じていますか。

怖がっていない。新型コロナウイルス感染症拡大の影響も  
あって、海外の選手とあまり試合ができていないものもあるかも  
しれないけれど、なんとなく怖いものなしにいろいろとチャレン  
ジできているなと感じます。ドリブルやパスなど一つひとつのプ  
レーをとっても、バックパスをしない、ドリブルで仕掛けていく。そ  
のプレーがいいか悪いかは置いておいて、自分からチャレンジ  
するプレーが多いという印象です。

——逆に今以上を目指す上で、何が必要だと感じています  
か。

経験の部分では19歳なのではない部分ではありますが、もっとJ1でスタメン出場するような選手がどんどん出てきて  
ほしいなと思います。Jリーグに出場していれば、ワールドユース  
の予選でも余裕を持って戦うことができるようになり、違いを出  
せるようになると思うので。

——試合に出ることの大切さがありますか。

もちろん。自分の足りないところも先輩とプレーすることで感  
じることができる。J1に出場して、それに慣れてくと同年代で  
プレーするときに余裕を感じることができるようになりますから。

——今年は適用外となりましたが、YBCルヴァンカップでは  
U-21先発ルールがあり、若手選手の活躍の場を提供する機  
会にもなっています。

YBCルヴァンカップではニューヒーロー賞や若い選手を1名  
必ず出場させるという大会ルールもあります。これからの選手が  
こういった舞台で活躍できるようになると、自信がついて他の  
同世代の選手とはキャリアが一つ二つ違ってくることもある。タ  
イトルを一つ獲るだけでも違うし、そもそも試合に出続けて勝ち  
続けないと決勝には出られない。そういう経験は大事。これを  
チャンスだと思って、踏み台にしてほしいなと思います。

——決勝での試合に期待することは？

お客さんも満員にできない状況など、あまりサッカーを通じ  
た熱を感じづらいシーズンになっていますが、両チームともスト  
ロングポイントを出し合って、白熱した質の高いゲームになるこ  
とを期待しています。📺




FW  
**オルンガ**  
OLUNGA



# KASHIWA REYSOL



## 柏レイソル

- ☐ ホームタウン：千葉県柏市
- ☐ ホームスタジアム：三協フロンテア柏スタジアム
- ☐ チーム名の由来：スペイン語の「REY」(王)と「SOL」(太陽)を合体させた造語で、太陽王の意味を持つ。 王の偉大さと厳しさを備えながらも、優しさや親しみやすさをも兼ね備える
- ☐ クラブカラー：イエロー
- ☐ タイトル：J1リーグ 優勝1回(2011)、J2リーグ 優勝2回(2010、2019)、リーグカップ2回(1999、2013)、天皇杯1回(2012)




DF  
**古賀 太陽**  
Taiyo KOGA

**2** 019シーズンのJ2リーグを制し、1年でのJ1復帰を果たした。さらなる躍進を期して2020シーズンに柏レイソルが掲げたのは「リーグ戦3位以内」と「タイトル獲得」という二つの目標である。その目標実現のため、シーズン前には大幅な戦力補強に乗り出し、各クラブのレギュラークラス9名を獲得した。だが、新型コロナウイルスの影響でJリーグのスケジュールが大幅に変更され、かつてないハードかつイレギュラーな日程は負傷者続出という非常事態を引き起こしてしまう。中村航輔、クリスティアーノ、瀬川祐輔といった主力級の選手を中心に、シーズン途中には十数名が故障者リストに入るといった苦しい状況に陥った。その影響もあってリーグ戦では7位と、目標の順位には到達できなかったものの、ネルシーニョ監督が様々な選手を起用しながら快進撃を続けたYBCルヴァンカップでは、見事に決勝戦へ駒を進めた。

チームの戦い方は、一言で言えば“変幻自在”。複数のシステムを使い分け、対戦相手の特徴や試合状況に応じて柔軟に戦い方を変える。中でも注目が集まるのは攻撃陣の破壊力だ。今季28得点を挙げてJ1リーグ得点王に輝いたオルンガ、10アシストを記録した江坂任、さらにクリスティアーノもケガから復帰し、彼らを擁する柏の攻撃はJ1リーグ3位の60得点を叩き出した。

2013年のリーグカップ制覇を最後に、柏はタイトルから遠ざかっている。かつて国内三大タイトルの獲得経験を持ち、優勝がもたらす飛躍的なチーム力向上を経験してきた大谷秀和は「チームがさらに上のレベルに行くにはタイトルは不可欠。何があんでもタイトルを取り、若手選手たちにも優勝の素晴らしさを体感してもらいたい」とタイトル奪還に向けて高いモチベーションを抱く。

国立競技場最後のリーグカップ決勝で聖杯を掲げてから7年。柏は新国立競技場最初のYBCルヴァンカップ王者を狙う。 (文・鈴木潤)



MF  
**江坂 任**  
Ataru ESAKA



7年前の  
同じ国立競技場でふたたび



FW  
**クリスティアーノ**  
CRISTIANO





**母** 国ブラジルのみならず、国内外の様々なクラブで数多くの栄冠を手にしてきた名将である。Jリーグでは、ヴェルディ川崎(現東京ヴェルディ)、名古屋グランパスの監督を歴任し、2009年7月から柏レイソルの監督に就任。その後、10年のJ2優勝を皮切りに、J1、天皇杯、リーグカップ、富士ゼロックススーパーカップなど柏に国内の全タイトルをもたらした。14年に一度退任するも、19年にはJ2に降格したチームの再建を託されて、5年ぶりに柏への復帰を果たした。そして“J2優勝&1年でのJ1復帰”という当初掲げたミッションを完遂させた。

ネルシーニョ監督の最大の特徴は、チームスローガンにポルトガル語で勝利を意味する“VITORIA”という言葉を用いるように、勝利に対する飽くなき執念である。

「勝利とは言うのは簡単だが、それを手にするのは容易ではない。我々は目の前の試合を全力で戦い、全員で勝利を手になければならない」

前体制時同様、現チームにも日々そう伝えることで“勝者のメンタリティー”を植え付け、降格したチームを戦える集団へと変貌させた。その勝利を欲する気持ちは70歳を迎えた現在も衰えることはなく、大谷秀和によれば「むしろ以前よりも勝利への思いは強くなっている」という。

今シーズン途中には、主力選手十数名がケガで戦列を離れるという苦しい状況に陥ったが、選手個々の適性を見極め、新たなポジションに挑戦させることで主力不在の穴を補填。この難局を乗り越え、とともに、チーム力の底上げをも促した。また、対戦相手を入念に分析し、その弱点を見極めては的確に突いて試合を優位に進める手腕に優れる。さらに戦況を読む洞察力にも長けており、選手交代やシステム変更でガラリと流れを変えてしまう。その采配は、ときに“ネルシーニョ・マジック”と称される。【文・鈴木潤】

## MANAGER ネルシーニョ NELSINHO

## RESULTS

1993	グループリーグ敗退
1994	1回戦敗退
1995	-
1996	ベスト4
1997	ベスト8
1998	グループリーグ敗退
1999	優勝
2000	2回戦敗退
2001	3回戦敗退
2002	ベスト8
2003	グループリーグ敗退
2004	グループリーグ敗退
2005	グループリーグ敗退
2006	-
2007	グループリーグ敗退
2008	グループリーグ敗退
2009	グループリーグ敗退
2010	-
2011	1回戦敗退
2012	ベスト4
2013	優勝
2014	ベスト4
2015	ベスト8
2016	グループリーグ敗退
2017	グループリーグ敗退
2018	ベスト4
2019	グループリーグ敗退

## 今季公式戦成績

20勝 9分 12敗

69 得点 47 失点

※主要三大大会の結果とする。

## 今季公式戦チーム内 得点ランキング

順位	得点	名前
1	29	オルンガ
2	11	江坂 任
3	6	呉屋 大翔
4	4	クリスティアーノ 北爪 健吾 仲間 隼斗

※主要三大大会の結果とする。



# PLAYERS FILE

## 柏レイソル 選手リスト



- 1 生年月日 2 身長／体重  
3 出生地 4 前所属クラブ  
5 今季J1出場／得点数  
6 今季ルヴァンカップ出場数／得点数

### GK ゴールキーパー

<b>1</b>  <b>桐畑 和繁</b> Kazushige KIRIHATA 1 1987/6/30 2 187/77 3 山梨 4 柏レイソルU-18 5 0/0 6 0/0	<b>16</b>  <b>滝本 晴彦</b> Haruhiko TAKIMOTO 1 1997/5/20 2 190/83 3 茨城 4 柏レイソルU-18 5 2/0 6 2/0	<b>17</b>  <b>キム スング</b> KIM Seung Gyu 1 1990/9/30 2 185/84 3 大韓民国 4 蔚山現代FC/ 大韓民国 5 24/0 6 2/0	<b>23</b>  <b>中村 航輔</b> Kosuke NAKAMURA 1 1995/2/27 2 185/82 3 東京 4 アビスパ福岡 5 10/0 6 1/0	<b>41</b>  <b>佐々木 雅士</b> Masato SASAKI 1 2002/5/1 2 184/75 3 千葉 4 柏レイソルU-15 5 0/0 6 0/0
				<b>48</b>  <b>近野 勝大</b> Katsuhiro KONNO 1 2003/8/7 2 187/77 3 埼玉 4 柏レイソルU-15 5 0/0 6 0/0

### DF ディフェンダー

<b>2</b>  <b>鎌田 次郎</b> Jiro KAMATA 1 1985/7/28 2 179/76 3 東京 4 ペガタ仙台 5 9/0 6 2/0	<b>3</b>  <b>高橋 祐治</b> Yuji TAKAHASHI 1 1993/4/11 2 187/80 3 滋賀 4 サガン鳥栖 5 10/0 6 1/0	<b>4</b>  <b>古賀 太陽</b> Taiyo KOGA 1 1998/10/28 2 182/71 3 新潟 4 アビスパ福岡 5 33/0 6 4/0	<b>6</b>  <b>高橋 峻希</b> Shunki TAKAHASHI 1 1990/5/4 2 170/70 3 埼玉 4 ヴェルセル神戸 5 20/0 6 5/0	<b>13</b>  <b>北爪 健吾</b> Kengo KITAZUME 1 1992/4/30 2 177/74 3 群馬 4 横浜FC 5 23/2 6 3/2
<b>15</b>  <b>染谷 悠太</b> Yuta SOMEYA 1 1986/9/30 2 184/79 3 東京 4 京都サンガF.C. 5 6/0 6 1/0	<b>20</b>  <b>三丸 拓</b> Hiromu MITSUMARU 1 1993/7/6 2 172/69 3 栃木 4 サガン鳥栖 5 20/0 6 2/0	<b>24</b>  <b>川口 尚紀</b> Naoki KAWAGUCHI 1 1994/5/24 2 177/72 3 新潟 4 アルビレックス新潟 5 10/0 6 3/0	<b>25</b>  <b>大南 拓磨</b> Takuma OHNAMI 1 1997/12/13 2 184/76 3 愛知 4 ジュビロ磐田 5 22/0 6 2/0	<b>50</b>  <b>山下 達也</b> Tatsuya YAMASHITA 1 1987/11/7 2 182/73 3 兵庫 4 セレッソ大阪 5 19/0 6 2/1
<b>38</b>  <b>大嶽 拓馬</b> Takuma OTAKE 1 2002/8/8 2 172/68 3 茨城 4 FC石巻 5 0/0 6 0/0	<b>42</b>  <b>戸田 伊吹</b> Ibuki TODA 1 2002/5/3 2 175/69 3 茨城 4 柏レイソルU-15 5 0/0 6 0/0	<b>47</b>  <b>田中 隼人</b> Hayato TANAKA 1 2003/11/1 2 185/74 3 千葉 4 柏レイソルU-15 5 0/0 6 0/0		

### MF ミッドフィールダー

<b>5</b>  <b>小林 祐介</b> Yusuke KOBAYASHI 1 1994/10/23 2 172/65 3 埼玉 4 湘南ベルマーレ 5 9/0 6 3/0	<b>7</b>  <b>大谷 秀和</b> Hidekazu OTANI 1 1984/11/6 2 174/67 3 千葉 4 柏レイソルユース 5 23/2 6 2/0	<b>8</b>  <b>ヒシャルジノン</b> RICHARDSON 1 1991/8/17 2 174/74 3 ブラジル 4 セアラーSC/ブラジル 5 27/1 6 2/0	<b>10</b>  <b>江坂 任</b> Ataru ESAKA 1 1992/5/31 2 175/67 3 兵庫 4 大宮アルディージャ 5 32/9 6 3/2	<b>22</b>  <b>マテウス サヴィオ</b> MATHEUS SAVIO 1 1997/4/15 2 175/74 3 ブラジル 4 CRフラメンゴ/ ブラジル 5 6/0 6 0/0
<b>27</b>  <b>三原 雅俊</b> Masatoshi MIHARA 1 1988/8/2 2 175/69 3 熊本 4 ヴェルセル神戸 5 29/1 6 5/0	<b>28</b>  <b>戸嶋 祥郎</b> Sachiro TOSHIMA 1 1995/9/26 2 170/66 3 埼玉 4 アルビレックス新潟 5 16/0 6 4/0	<b>33</b>  <b>仲間 隼斗</b> Hayato NAKAMA 1 1992/5/16 2 170/64 3 群馬 4 ファジアーノ岡山 5 29/4 6 3/0	<b>36</b>  <b>山田 雄士</b> Yuto YAMADA 1 2000/5/17 2 169/63 3 千葉 4 柏レイソルU-18 5 1/0 6 3/0	<b>43</b>  <b>田村 蒼生</b> Soki TAMURA 1 2002/4/20 2 165/60 3 千葉 4 柏レイソルU-15 5 0/0 6 0/0
				<b>45</b>  <b>損斐 俊斗</b> Shunto IBI 1 2002/12/19 2 172/65 3 埼玉 4 柏レイソルU-15 5 0/0 6 0/0

### FW フォワード

<b>9</b>  <b>クリスティアーノ</b> CRISTIANO 1 1987/1/12 2 183/83 3 ブラジル 4 ヴァンフォーレ甲府 5 15/4 6 2/0	<b>11</b>  <b>山崎 亮平</b> Ryohei YAMAZAKI 1 1989/3/14 2 173/76 3 千葉 4 アルビレックス新潟 5 1/0 6 1/0	<b>14</b>  <b>オルンガ</b> OLUNGA 1 1994/3/26 2 193/85 3 ケニア 4 ジローナFC/スペイン 5 32/28 6 2/1	<b>18</b>  <b>瀬川 祐輔</b> Yusuke SEGAWA 1 1994/2/7 2 170/67 3 東京 4 大宮アルディージャ 5 19/2 6 2/0	<b>19</b>  <b>呉屋 大翔</b> Hiroto GOYA 1 1994/1/2 2 177/68 3 大阪 4 ガンバ大阪 5 20/4 6 3/2
<b>35</b>  <b>細谷 真大</b> Mao HOSOGA 1 2001/9/7 2 177/69 3 茨城 4 柏レイソルU-18 5 2/0 6 2/1	<b>37</b>  <b>鶴木 郁哉</b> Fumiya UNOKI 1 2001/7/4 2 167/67 3 神奈川 4 柏レイソルU-18 5 4/0 6 2/0	<b>39</b>  <b>神谷 優太</b> Yuta KAMIYA 1 1997/4/24 2 176/67 3 山形 4 湘南ベルマーレ 5 19/3 6 1/0	<b>44</b>  <b>中島 舜</b> Shun NAKAJIMA 1 2002/4/8 2 171/60 3 イングランド 4 柏レイソルU-15 5 0/0 6 0/0	



FW

ディエゴ  
オリヴェイラ

DIEGO OLIVEIRA

F.C.  
TOKYO

FC東京

- ☐ ホームタウン：東京都
- ☐ ホームスタジアム：味の素スタジアム
- ☐ チーム名の由来：都民各層から幅広くサポートされる「都民のための」クラブ」を目指す観点から、ホームタウン名「東京」を入れた、シンプルで誰にもわかりやすく馴染みのあるものとした
- ☐ クラブカラー：ブルー&レッド
- ☐ タイトル：リーグカップ2回(2004、2009)、天皇杯1回(2011)、J2リーグ 優勝1回(2011)

DF

森重 真人

Masato MORISHIGE



昨

季のJ1リーグでは最終節まで優勝争いを続け、クラブ初の2位につけたFC東京。今季こそは、とJ1でのタイトル獲得に照準を合わせ、期待の2020シーズンをスタートさせた。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けるとともに、AFCチャンピオンズリーグ(ACL)までを見据えた日程は超過密に。日々追われるように試合が続くなか、シーズン半ばにMF橋本拳人、DF室屋成の海外移籍も相次ぎ、チームとしての積み上げに焦点を当てられなかったことは事実だろう。ゲーム内容には目をつぶらざるを得ない状況もあり、リーグ終盤には長谷川健太監督のもとで初の5連敗も経験した。

GK波多野豪やDF中村拓海、MF内田宅哉ら、若手の台頭の兆しもありながら、一方でGK林彰洋が長期離脱を余儀なくされるなど、競争力と好循環を活かしきれないままACLに突入。大会中のFWディエゴ オリヴェイラの負傷も影を落とし、過去2大会と同様のベスト16にとどまった。

それでも厳しい環境はチームを一つにした。逆風をバネに、確かな成長が見て取れる。大きなターニングポイントともいえるのが、このアジアでのチャレンジだ。DF森重真人を中盤に起用するという新たなオプションを手に入れ、チーム内の競争力を取り戻すことにも成功。結果は僅差の勝負に競り負ける形となったが、森重は選手たちの総意を代弁するかのよう「刺激を受け、大きな悔しさとともに自信を掴んだ部分がある」と振り返った。

帰国後のJ1リーグでは、その言葉通りにDF中村帆高やDFジョアン オマリが勝利に直結する活躍を見せ、2連勝で締めくくった。選手個々に力を振り絞り、前に向かってキャリアを刻み続けたことが、確かなチームの底上げにつながっている。

YBCルヴァンカップ決勝のピッチに立つのは11シーズンぶり。かつての優勝の味を知る選手は、森重一人になった。ただし今季の集大成は来季に向けたスタートでもある。だからこそすべての力を結集させ、タイトルに向かう意義は大きい。新生トキヨーは国立競技場でまだ見ぬ光景を渴望し、その一歩を踏み出す。(文・藤原タ)







MF  
**レアンドロ**  
LEANDRO

新たな力を結集させ、  
総力でタイトルを目指す



DF  
**渡辺 剛**  
Tsuyoshi WATANABE





**か** つてガンバ大阪で三冠を成し遂げた長谷川健太監督。J1リーグ通算200勝も達成し、勝つ術を知る指揮官だ。

清水エスパルス時代より、攻守の切り替えやファストブレイク(速攻)を大切にしてきた。2018年に就任時には、それまでのFC東京の印象を「守備の文化が備わっている」と述べ、監督の志向するスタイルがFC東京のDNAにマッチしたともいえるだろう。そのうえで常に試行錯誤をして戦術をブラッシュアップ。強みを磨ぎ澄ませ、ウィークは細部にこだわることでカバーし、コンスタントにレベルアップを図ってきた。

しかしながら今季は、かつてない困難に直面。監督自身「試合以前に、サッカーの意義やクラブの存在について、これほどまで考えたことはなかった」と振り返り、改めてサッカーのできる日常に感謝の意を表した。JリーグやACL開催への尽力はもとより、「ファン・サポーターの支えがなければここまですることはできなかった」という言葉は今季の偽らざる本音だろう。

ピッチ上に目を向ければ「この過密日程を回していくことができるのか。戦ってみるまでは自分にもわからなかった」と正直な心境を吐露。特に「橋本や室屋がチームを離れた時は、もう一度チームの方向性を打ち出さなければなかった」と苦しさも打ち明けた。

しかし不安や動揺は一切表には出さず、その軸足は常に「東京らしく」。自分たちのサッカーができるかどうか、だ。もちろん敗れることもあった。うまくいかない時間も過ごしたが、選手たちには常にできる限りの全力を尽くす姿勢を求めた。「東京らしさ」とはチームのために尽くす、その姿勢にほかならない。

誰に対しても公平な態度で接し、視点は公正。環境や戦力を言い訳にすることもなかった。リーグ戦終了後には「結果は納得できるものではなかったが、それは私自身の力の足りなさ」と省み、「この厳しさのなかで選手たちの成長が見られたことはうれしく思う」と顔をほころばせる一面も。その誠実さと度量の大きさ、マネージメント力に人々は期待を寄せる。強く、愛される闘将だ。【文・藤原タ】

## RESULTS

1999	ベスト4
2000	2回戦敗退
2001	2回戦敗退
2002	ベスト8
2003	ベスト8
2004	優勝
2005	グループリーグ敗退
2006	グループリーグ敗退
2007	ベスト8
2008	ベスト8
2009	優勝
2010	ベスト8
2011	-
2012	ベスト4
2013	グループリーグ敗退
2014	グループリーグ敗退
2015	ベスト8
2016	ベスト4
2017	ベスト8
2018	グループリーグ敗退
2019	ベスト8

## MANAGER 長谷川 健太 Kenta HASEGAWA

### 今季公式戦成績

19勝 6分 11敗

52得点 42失点

※主要三大会の結果とする。

### 今季公式戦チーム内 得点ランキング

順位	得点	名前
1	11	レアンドロ
2	9	ディエゴ オリヴェイラ
3	9	アダイウトン
4	4	永井 謙佑 安部 柊斗

※主要三大会の結果とする。



# PLAYERS FILE

## FC東京 選手リスト



- 1 生年月日 2 身長／体重  
3 出生地 4 前所属クラブ  
5 今季J1出場／得点数  
6 今季ルヴァンカップ出場数／得点数

### GK ゴールキーパー

**1 児玉 剛**  
Tsuayoshi KODAMA

1 1987/12/28  
2 183/83  
3 大阪  
4 モンテディオ山形  
5 1/0  
6 0/0

**13 波多野 豪**  
Go HATANO

1 1998/5/25  
2 198/97  
3 東京  
4 FC東京U-18  
5 10/0  
6 0/0

**39 志村 晃**  
Ko SHIMURA

1 1996/4/27  
2 186/76  
3 千葉  
4 ジュビロ磐田  
5 0/0  
6 0/0

**41 野澤 大志**  
Taishi Brandon NOZAWA

1 2002/12/25  
2 193/90  
3 沖縄  
4 FC東京U-18  
5 0/0  
6 0/0

### DF ディフェンダー

**3 森重 真人**  
Masato MORISHIGE

1 1987/5/21  
2 183/79  
3 広島  
4 大分トリニータ  
5 28/1  
6 2/0

**4 渡辺 剛**  
Tsuayoshi WATANABE

1 1997/2/5  
2 186/78  
3 埼玉  
4 中央大  
5 28/2  
6 2/0

**5 丹羽 大輝**  
Daiki NIWA

1 1986/1/16  
2 181/74  
3 大阪  
4 サンフレッチェ広島  
5 28/0  
6 0/0

**6 小川 諒也**  
Ryoya OGAWA

1 1996/11/24  
2 183/78  
3 東京  
4 流通経済大付属柏高  
5 28/0  
6 2/0

**22 中村 拓海**  
Takumi NAKAMURA

1 2001/3/16  
2 177/68  
3 大分  
4 東福岡高  
5 17/0  
6 1/0

**25 蓮川 壮大**  
Sodai HASUKAWA

1 1998/6/27  
2 182/80  
3 東京  
4 明治大在学  
5 1/0  
6 0/0

**29 岡崎 慎**  
Makoto OKAZAKI

1 1998/10/10  
2 181/74  
3 東京  
4 清水エスパルス  
5 9/0  
6 3/0

**32 ジョアンオマリ**  
JOAN OUMARI

1 1988/8/19  
2 187/82  
3 レバノン  
4 ヴィッセル神戸  
5 12/1  
6 0/0

**34 大森 理生**  
Rio OMORI

1 2002/7/21  
2 183/76  
3 東京  
4 FC東京U-15むさし  
5 0/0  
6 0/0

**37 中村 帆高**  
Hotaka NAKAMURA

1 1997/8/12  
2 177/72  
3 神奈川  
4 明治大  
5 28/1  
6 2/0

**47 木村 誠二**  
Seiji KIMURA

1 2001/8/24  
2 186/80  
3 千葉  
4 FC東京U-18  
5 3/0  
6 0/0

**49 バンゲーナガンデ**  
Kashif BANGUNAGANDE  
住安扶

1 2001/9/24  
2 176/74  
3 東京  
4 FC東京U-18  
5 2/0  
6 0/0

### MF ミッドフィールダー

**7 三田 啓貴**  
Hirohata MITA

1 1990/9/14  
2 173/65  
3 東京  
4 ヴィッセル神戸  
5 26/1  
6 2/0

**8 高萩 洋次郎**  
Yojiro TAKAHAGI

1 1986/8/2  
2 183/69  
3 福岡  
4 FCソウル/大韓民国  
5 26/1  
6 2/0

**10 東 慶悟**  
Keigo HIGASHI

1 1990/7/20  
2 178/72  
3 福岡  
4 大宮アルディージャ  
5 7/0  
6 0/0

**15 アダイウトン**  
ADAILTON

1 1990/12/6  
2 176/83  
3 ブラジル  
4 ジュビロ磐田  
5 33/8  
6 2/1

**19 宮崎 幾笑**  
Kiware MIYAZAKI

1 1998/2/17  
2 176/65  
3 群馬  
4 アルビレックス新潟  
5 1/0  
6 0/0

**20 レアンドロ**  
LEANDRO

1 1993/5/12  
2 177/78  
3 ブラジル  
4 鹿島アントラーズ  
5 26/9  
6 2/2

**28 内田 宅哉**  
Takuya UCHIDA

1 1998/6/2  
2 177/70  
3 千葉  
4 FC東京U-18  
5 25/0  
6 2/0

**31 安部 柊斗**  
Shuto ABE

1 1997/12/5  
2 171/67  
3 東京  
4 明治大  
5 27/2  
6 2/2

**38 紺野 和也**  
Kazuya KONNO

1 1997/7/11  
2 161/58  
3 埼玉  
4 法政大  
5 9/0  
6 0/0

**40 平川 怜**  
Rei HIRAKAWA

1 2000/4/20  
2 177/72  
3 東京  
4 鹿児島ユナイテッドFC  
5 3/0  
6 0/0

**44 品田 愛斗**  
Manato SHINADA

1 1999/9/19  
2 180/66  
3 埼玉  
4 FC東京U-18  
5 9/1  
6 0/0

**45 アルトゥール**  
シルバ  
ARTHUR SILVA

1 1995/4/26  
2 181/80  
3 ブラジル  
4 CN マルシリオ ジアス/  
ブラジル  
5 29/0  
6 2/0

### FW フォワード

**9 ディエゴ**  
オリヴェイラ  
DIEGO OLIVEIRA

1 1990/6/22  
2 179/78  
3 ブラジル  
4 柏レイソル  
5 28/9  
6 2/0

**11 永井 謙佑**  
Kensuke NAGAI

1 1989/3/5  
2 178/71  
3 広島  
4 名古屋グランパス  
5 26/4  
6 2/0

**23 矢島 輝一**  
Kiichi YAJIMA

1 1995/4/6  
2 187/82  
3 東京  
4 中央大  
5 26/3  
6 0/0

**24 原 大智**  
Taichi HARA

1 1999/5/5  
2 191/84  
3 東京  
4 FC東京U-18  
5 1/0  
6 1/0

**27 田川 亨介**  
Kiyosuke TAGAWA

1 1999/2/11  
2 181/70  
3 鹿児島  
4 サガン鳥栖  
5 21/2  
6 0/0



# EVENT INFORMATION イベント情報

## 国歌独唱歌手



### 大野雄大さん(Da-iCE)

生年月日：1989年4月1日 出身地：愛知県 血液型：A型 Da-iCEのボーカル兼パフォーマー。アーティスト名「Da-iCE」の名付け親。ハスキーで力強くピッチが正確なボーカル力と、MC中にみせるお茶目な一面とのギャップが魅力的。2020年8月リリースのシングル「DREAMIN' ON」がTVアニメ「ONE PIECE」の主題歌に起用されている。趣味は釣りで、料理も得意であるため、釣り上げた魚を自らさばいて調理する。2020年11月1日にはソロでデジタルEP「UNPLUGGED EP」をリリース。Billboard Live Tourも開催するなど、大野雄大としてソロ活動の場も広がっている。

## ご来場者様限定！ Jリーグ公式アプリClubJ.LEAGUE スタジアムチェックインキャンペーン

Jリーグ公式アプリ「ClubJ.LEAGUE」では本日の試合使用球等が抽選で当たるキャンペーンを実施しています。アプリで観戦チェックインを行い、前半キックオフまでにご応募ください！

当選結果はハーフタイムにスタジアムビジョンや、アプリPUSH通知および、アプリニュースタブ上部のバナーでお知らせいたします。試合終了までにご確認ください。

■応募方法：柏レイソルもしくはFC東京をお気に入りクラブに登録の上、  
アプリで観戦チェックインを行ったのち、キャンペーンにご応募いただけます。

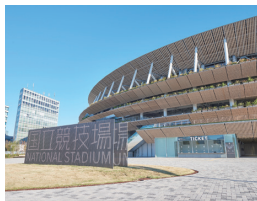
**A賞**  
本日の試合使用球 1名様

**B賞**  
決勝対戦記念グッズセット 10名様

※賞品は郵送にて発送いたします。  
後日JリーグIDに登録されているメールアドレスへ発送先確認のメールをお送りしますのでご確認ください。



## フोटスポット



実施時間 9:00～13:30  
(カップ展示は11:30～13:30)  
内容：国立競技場をバックにルヴァンカップと一緒に記念撮影ができます。  
※天候により展示できない可能性や展示時間を短縮させていただく可能性があります。予めご了承ください。

## Jリーグクラウドファンディング

Jリーグは毎シーズン、ルヴァンカップ決勝で、「TEAM AS ONE 募金」を実施しています。今シーズンは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スタジアムでの募金活動は見送り、クラウドファンディングを活用し、サイト上に募金箱を設置することといたしました。お預かりした募金は、被災地のニーズを勘案した物資の寄贈、被災地訪問、被災地からのご招待などに活用させていただいています。

募金の対象となる災害は、内閣府によって激甚災害指定を受けるもしくは受けることが想定され、当該地域の人々および「クラブ」に甚大な被害をもたらし、支援が必要と村井チェアマンが判断した下記の災害となります。

東日本大震災／熊本地震／平成30年7月豪雨災害／北海道胆振東部地震／令和元年東日本台風／令和2年7月豪雨など梅雨前線等による一連の災害

試合会場だけでなく、いつでもどこからでも募金ができるようになり、今後、起こりうる震災や災害等の備えとしても活用できることとなります。

皆様からの温かいご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

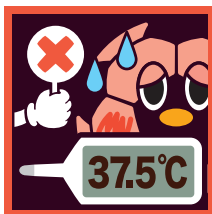


# PREVISION 新型コロナウイルス感染予防に関する取り組み

詳細はこちら



体調不良の場合は  
ご注意を



37.5度以上の場合  
入場不可



マスクを着用



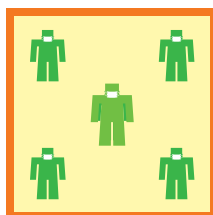
ソーシャル  
ディスタンスの確保



手洗い、手指消毒は  
こまめに



座席からの移動は禁止

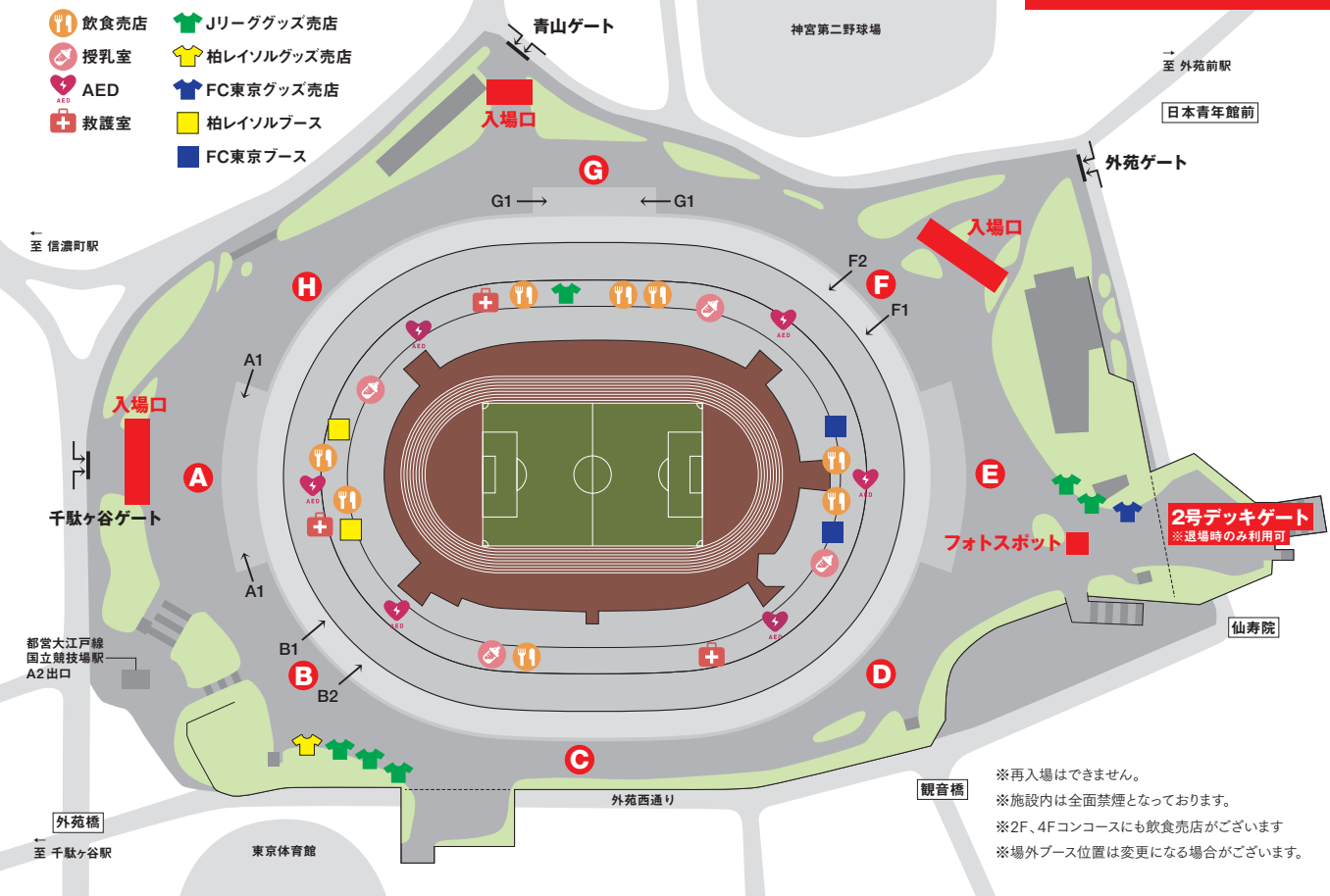


密集・密接を避け、  
感染リスクのある行動を回避



応援スタイルの制限





**GROWING**

すべてのスポーツにエールを

スポーツ応援サイト「GROWING byスポーツくじ (toto・BIG)」は、さまざまな競技やアスリート、そしてスポーツ振興くじ助成の活動実績などを紹介しています。

<https://www.toto-growing.com/>

スポーツくじ GROWING

検索

※19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売: 独立行政法人日本スポーツ振興センター





ヤマザキビスケット

いつでもおいしい  
ルヴァン プライム。

